

今月の表紙

管内の「はえぬき」を学食で使用する 神奈川大生が稲刈りなど収穫体験 交流続け今年で10年目

神奈川大学の学生と同大生活協同組合の職員ら約30人は9月13～14日、JA管内で農業体験や施設見学を行い、農業への理解を深める収穫体験をしました。

研修は、学生食堂でJAから供給する「はえぬき」を使用していることが縁で始まり、今年で10年目です。

一行は酒田市平田地区で、農家でJA職員の佐藤昌彦さんから鎌の使い方や、稲を束にしてまとめる方法、稲作の一連の工程などを学び、手刈りでの稲刈りに挑戦。刈取った稲は杭がけしました。学生は「中腰で大変な作業。農業機械がなかった昔、米が貨幣として使われたこともうなずける」とさわやかな汗を額に笑顔で話していました。

長ネギの収穫や「刈屋梨」の園地で生産者から生育概況を聞き、試食しました。ミニトマトの園芸施設やJAの精米センター、長ネギの共選施設、みそやしょうゆを製造している「マルノー山形」などを見学し、生産者との食事会で交流を深めました。



▲長ネギ収穫体験



▲梨畑で「幸水」を試食しました



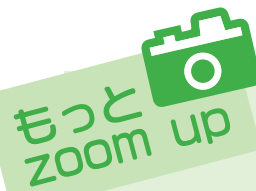
▲晴天のもと稲を持って

みどり

2018 No.294

CONTENTS

- 02 表紙紹介
- 03 組合長が聴く！
- 04 ニュース&トピックス
- 08 園芸だより／園芸生産拡大への道
- 09 変わるJA／ピックアップアイテムズ
- 10 くらしと福祉／女性大学 マナビーマイト2018
- 11 なるほど！ちょリス／旅行特集
- 12 みんなのふれあいひろば／読者からのおたより
- 13 ベジタブルライフ／健康百科
- 14 クロスワードパズル／お米を食べよう！レシピ
- 15 インフォメーション／理事会だより
- 16 新米キャンペーン



これからもおいしい
お米をお願いします！

神奈川大学の学生よりコメントを寄せていただきましたので、紹介します。

「いつも学食で美味しいご飯が食べられてうれしいです。今年は台風や大雨もあり、庄内地方の皆さんはじめ、お米の生育が心配でした。無事に稲刈りが始まったと聞いて安心しました」「収穫体験を通じて、たくさんご飯を食べたいと思いました。新米、楽しみにしています」



▲学食のご飯は当JA産のはえぬき。大学生からも好評です。